

八福神～8つの町（地区）と共に生きる～

本校の学校教育目標

「自分の可能性を信じ自ら学び自ら鍛える生徒の育成」

佐世保市立宮中学校 学校通信
第5号（令和3年7月20日発行）
発行責任者 熊本 直樹



コロナ禍の中で…修学旅行、野外体験活動に行ってきました

ワクチン接種が各所で実施され、それに呼応するかのよう、感染症の罹患者数も少しずつ減少傾向にあるようです。しかし東京では再び増加傾向が見受けられ、新種の感染症も流行の兆しが見えています。そんな中で実施はどうかと危ぶまれた「野外体験活動」と「修学旅行」の2つの行事ですが、規模こそ縮小したとはいえ、無事に実施することができました。保護者の皆様、ご理解・ご協力ありがとうございました。1年生は元氣一杯、おそらく日帰り日程ではもの足りなかつたでしょう。澆刺さの中にも中学生らしい規律正しさも見える良い活動状況でした。3年生は修学旅行としては短い1泊2日の日程でしたが、バス移動の時間が長かつたせいか、疲れた様子も見えました。しかし、3年生らしい慌てず騒がずの落ち着いた態度で活動できていました。どちらの活動も当初の予定どおりにはいきませんでした、1年生も3年生もそれぞれの状況の中で楽しんでくれたものと思っています。ぜひ今回の経験を今後の学校生活に活かしてほしいです。



いろいろ忙しいけど、でも「明日から夏休み」

7/21～8/31まで夏休みとなります。生徒自身にとって、ご家族にとって、ぜひ有意義な期間としてほしいと思います。



はちまん爺のツイート日記

※プライバシー保護の観点より、写真等の掲載については遠景のもの等を選択しております。

先週、実は3年生の修学旅行にこっそり同行し、熊本城を久々に見学したのはいいが、城から下る道で脚がフルフルして運動不足が露見した「はちまん爺」じゃ。さて、いよいよ明日から夏休みじゃな。昔の子供たちはそれこそ夢に見るほど楽しみにしておった。海開き、地域や町のお祭りやイベント、旅行や帰省、楽しいことが目白押しで休みが何日あっても足りなかった。8月末になると「もう終わるのか」とフルー気分が極致だったのう。対して、今の子供たちはどうじゃろう。休み＝自由という気安さは感じるが、それほどワクワク気分という風には見えない。何しろ今の子供たちは忙しい。中学生にとって夏休みは楽しい活動の時間ではなく、本当に「休息期間」になっている気がする。いやそれにすらなっていないのかも。昔、学校自体は楽しかったし、嫌いではなかったが、やっぱり夏休みは嬉しかった。今の子供たちにとって、「夏休み」というものの存在の意味が、昔のそれとは変わってきているのかもしれない。